

令和5年度鴨川市総合計画審議会 会議録

1 日 時 令和5年8月18日（金） 午前10時00分から午前11時56分まで

2 場 所 市役所本庁舎4階大会議室

3 出席者

(1) 委員

No.	氏 名	所属・職名	備 考
1	飯塚 和夫	安房農業協同組合 常務理事	
2	齋藤 守彦	鴨川市商工会 副会長	
3	鈴木 健史	一般社団法人鴨川市観光協会 理事	会長
4	田中 美恵子	学校法人鉄蕉館亀田医療大学 副学長・教授	副会長
5	小滝 浩介	鴨川市金融団 幹事 (千葉銀行鴨川支店長)	
6	菅野 恵	館山公共職業安定所 所長	
7	伊丹 賢	有限会社房州日日新聞社 編集部長兼編集部デスク	

(順不同、敬称略)

※欠席

No.	氏 名	所属・職名	備 考
1	金井 重人	公益社団法人安房医師会 (東条メンタルホスピタル)	

(順不同、敬称略)

(2) 市

No.	所属・職氏名	備 考
1	市 長 長谷川 孝夫	
2	副市長 平川 潔	
3	教育長 鈴木 希彦	
4	企画総務部 部 長 大久保 孝雄	

5	市民福祉部 部長 鈴木 克己	
6	建設経済部 部長 野村 敏弘	
7	教育委員会 教育次長 山口 昌宏	
8	企画総務部企画政策課 課長 滝口 俊孝	事務局
9	企画総務部企画政策課 課長補佐 田中 仁之	〃
10	企画総務部企画政策課 企画係 係長 在間 啓一郎	〃
11	企画総務部企画政策課 企画係 主任主事 小粒 将一	〃

(3) 傍聴者

4名

4 資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・出席者名簿
- ・資料1 鴨川市第4次5か年計画の進行管理について
- ・資料2 鴨川市第4次5か年計画執行状況
- ・資料3 第2期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について
- ・資料4 第2期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和3年度及び令和4年度事業実績
- ・資料5 地方創生関連交付金事業及び地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の実績
- ・令和4年度鴨川市総合計画審議会会議録

5 会議内容

(1) 開会（午前10時00分）

(2) 委員交代の報告及び紹介

鴨川市金融団幹事が館山信用金庫鴨川支店から千葉銀行鴨川支店に変更となったことに伴い、館山信用金庫鴨川支店長 池田 恵美子氏から委員交代の申出があったため、令和5年8月18日付けで、同氏の後任委員として、千葉銀行鴨川支店長 小滝 浩介氏を委嘱したことを事務局から報告するとともに、小滝委員を紹介した。

また、令和5年4月1日付け人事異動に伴い、関 貴之氏からも委員交代の申出があったため、

令和5年8月18日付けで、同氏の後任委員として、館山公共職業安定所所長 菅野 恵氏を委嘱したことを事務局から報告するとともに、菅野委員を紹介した。

(3) 市長あいさつ

(要旨)

本市においては、将来都市像である「活力あふれる健やか交流のまち鴨川」の実現に向け、令和3年度を初年度とする第4次5か年計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、各種施策の推進や様々な事業展開を図っているところ、本日はその事業の評価・検証をお願いするものである。

皆様方にはそれぞれの立場から忌憚のない意見をいただくよう、お願いする。

(4) 会長あいさつ

(要旨)

本日の会議では、第4次5か年計画及び第2期総合戦略事業の令和4年度の実績等について審議を行う。

「活力あふれる健やか交流のまち鴨川」の実現に向けて、皆様には、是非、主体的かつ建設的なご意見をいただくとともに、会議の円滑な運営にご協力をいただきたい。

(5) 議 題

鴨川市附属機関設置条例第5条第2項の規定に基づき会議が成立したことについて事務局から報告した後、同条第1項の規定に基づき、鈴木会長が議長となって議事を進行した。

冒頭、議長から、名簿順に 小滝 浩介 委員及び 菅野 恵 委員を会議録署名委員として指名した後、議事に入った。

議題1 鴨川市第4次5か年計画の執行状況について

資料1及び資料2により、事務局から説明し、資料のとおり承認した。

コメント及び質疑等は、なし。

議題2 第2期鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

資料3から資料5により、事務局から説明し、資料のとおり承認した。

コメント及び質疑等は、次のとおり。

○令和4年度事業実績について

・効果検証時期について

《鈴木会長》

基本目標及びKPIの達成度について、目標値に至っていないようなものがあればご指摘していただきたい。

《在間係長》

基本目標及びKPIの達成度については、計画の中間年度終了の実績をもって行うこととしている。

《滝口課長》

業績及び成果指標の評価については、係長からの説明のとおり、来年度改めて行うこととしており、今回は活動指標、つまり、事業等を実施したことに伴う直接的な活動量を示した資料となっている。

・人口ビジョンについて

《斎藤委員》

昨年度もこの会議で質問させていただいたが、日本全体が人口減少傾向にある中で、鴨川市も同様の状況にあると思われるが、毎年人口ビジョンについて精査を行い、次年度の計画に見直しを行っているのかお伺いしたい。

《滝口課長》

令和2年の国勢調査の人口は32,116人となっている。住民基本台帳による人口は、令和2年が32,457人。令和3年が32,046人。令和4年が31,523人となっており、減少傾向は続いている状況にある。

総合戦略全体としては、来年度に中間年度で実績に基づく評価、そして次期計画の策定に向けて、全体の検証を改めて実施をさせていただければと考えている。

《斎藤委員》

計画の策定に関しては、どこの市町村もコンサルが入っていて、大体同じような内容だと聞いている。全国の市町村が同じようなものを作っている状況では、平均的に人が減っていくことになるのではないかと。兵庫県明石市の前市長、泉さんがおっしゃっているような思い切ったことをして、市の個性を出していかないとなかなか人口は増えていかないのではないかと。

市の皆さん方には人口を増やすことを目標に、強いリーダーシップを持って取り組んでもらいたい。勿論今一緒にいる委員さんや議員さんにも併せてお願いをしたい。

《鈴木会長》

人口減少について、年齢3区分ではどの区分の減少が著しいといったようなデータはあるのか。

《滝口課長》

人口ビジョンにおいて2045年までの人口を推計したデータがあるが、年少人口及び生産年齢人口は総じて減少していく推計となっている。高齢者の人口については、今後は減少傾向に転ずる推計となっている。

・「しごとづくり」について

《鈴木会長》

「しごとづくり」について、進捗状況をご指摘いただきたい。

《滝口課長》

全体的にコロナ禍の影響が懸念として挙げられる状況となっている。例を挙げると、ふるさとハローワークの強化事業について、就職相談会の参加者数の実績が0名となっている。

(有害鳥獣対策の強化)

《飯塚委員》

有害鳥獣対策として、昨年度、地域おこし協力隊員2名を委嘱していただき、大変感謝している。具体的な進捗状況について教えていただきたい。

《野村部長》

昨年度については、鴨川を知っていただくという目的で、地元の猟友会の会員の方々と一緒に有害鳥獣が出る場所を見て回る活動をした。

今年度については、罟や忌避剤の設置を行っており、捕獲数の実績が少しずつ上がってきている状況にあるので、今後は市内の発生状況等、実態調査を行えばよいと考えている。

《飯塚委員》

猟友会の方々の高齢化が進んでいるので、委嘱期間の終了後も鴨川市に定住していただけるよう、そういった点も含めて願います。

《鈴木会長》

駆除した有害鳥獣はどのように処分しているのか。

《野村部長》

地域おこし協力隊員が駆除した有害鳥獣は、基本的には埋設または焼却処分している。猟友会の方が捕獲した有害鳥獣は、その場で埋めることもあれば、加工用として搬出することもある。

(指導団体の育成・強化)

《齋藤委員》

昨年度もこの会議で質問させていただいたが、商工会活動等支援事業について、5年間の計画事業費が47,051千円となっていることから推察するに、単年度の事業費として概ね9,410千円を見込んでいると思われるが、令和3年度の実績は850万円。令和4年度の実績は790万円となっている。

年々予算措置が難しくなっていることが実情であると思われるが、その点について詳細を教えていただきたい。

《野村部長》

各種団体の補助金については、全般的に財政情報が厳しいことから1割削減させていただいた。

ただ今後商工会で一般的な活動ではなく、特別なイベントや活動に対しての補助をということであれば、財政部局と交渉し、そういった取組に対しどれだけ補助ができるかということを検討していきたいと考えている。

《齋藤委員》

5年間で1割ずつ減っていくということではなく、現状維持で進んでいくと考えてよいのか。

《野村部長》

担当としてはそうしていきたいと考えている。努力させていただく。

(雇用相談の充実)

《菅野委員》

ふるさとハローワーク機能強化事業について、令和3年度と4年度の実績が0名となっているとの説明があったが、確かにコロナ禍の影響もあり、全国のハローワークで参集形式の面接会や企業説明会等のイベントを控えていた。

今年度から徐々に再開している状況にあるので、今まで以上に商工観光課と連携しながら実施していきたいと考えているので、協力をお願いします。

《鈴木会長》

コロナ禍であったのではという説明があったが、昨年度は体感として求人欲求は非常に高まっている状況にあり、労働需要に対して労働供給が追いついていなかったという印象を受けた。

《菅野委員》

千葉労働局が8月1日に発表した有効求人倍率は1.01倍だが、ハローワーク館山管内は1.60倍となっており、昨年度は3倍近い状況にもあったように常に高い状況にある。

そういった中で面接会をしても、事業者は集まるが、求職者が集まらない。特に深刻なのは、介護事業に従事する人がいない。千葉県全体、全国的な傾向として求人は常に不足している。特にこの南房総地域では、ハローワークに登録する全体の求職者の4割から5割近くが55歳以上となっており、どうしたら一番働き盛りである30代40代の方たちをハローワークに集められるかというのが課題となっている。

私が去年までいた千葉のハローワークや、船橋や松戸と比べると、地元の企業への就職を希望する割合が高く、90%となっている。できれば賃金をアップしていただいて、地元の方が地元の企業に就職できるようにと考えているところではある。

《鈴木会長》

市内及び県内の旅館やホテルと話をする機会があるが、人手不足の影響から、例えば5階建てのホテルで1階を閉めて営業しているとか、週休2日で1週間のうち5日間だけ営業しているだとか、そういったことで凄いでいるという声を多々聞くことがある。なので、コロナはもう言い訳にならない状態ではないかと思われる。

《菅野委員》

面接会や企業説明会については、コロナの影響を理由に行えなかったと言える状況ではなくなってきた。

7月19日に相談会を開催したが、すべてYouTubeで行い、ハローワーク館山管内の事業者にも参加していただいた。ハローワークは公的な需給調整機関であるので、今後はマッチング支援に努めていくことで、管内の事業者がもっと活発になるように考えている。

(企業立地と雇用の拡大の促進)

《斎藤委員》

仕事はあるが、若年層は自分がやりたい仕事がないので都会へ出てしまう。求人はあっても人が集まらない理由はそういったところにあるのではないかと。

《菅野委員》

「リモートで仕事ができるかと思ったけどできなかった」、「もっと事業所があると思っていたら、意外と働ける場所がなかった」という話は求職者の方からよく聞く。

各自治体がU I Jターンの取組を行ってはいるが、実際に来てみると賃金が低すぎるということもよく聞く。各安定所で求人求職バランスシートを作成しているが、ハローワーク館山管内では、本人が希望する賃金が、千葉、松戸、船橋と比較し2万円程低いことが分かっており、特に、介護関係の仕事では3、4万円程度のギャップがある。

その反面、館山や鴨川は家賃等も安くなく、物価も都市部に比して低いわけではないので、事業者に対し賃金を上げることをアドバイスしているが、それをしてしまうと既存の社員とのバランスが取れないと言われるので、かなり厳しい状況にあるように思う。

《鈴木会長》

鴨川市の企業誘致活動はどういったものがあるのか。

《野村部長》

事業所の新設又は増設を行った企業に対し奨励金を交付している。昨年度から今年度にかけて2件の実績があるが、こういった事業についてPRを行っていければと思っている。

《鈴木会長》

例えば農林水産業や宿泊業が新增設を行った場合でも適用されるのか。

《野村部長》

対象業種に制限は設けていない。

《鈴木会長》

現在リモートワークを行っているIT企業も多いので、そういった業種にも優遇できる制度であれば職業の選択肢が広がるように思う。

・「ひとの流れ」について

《鈴木会長》

「ひとの流れ」について、進捗状況をご指摘いただきたい。

《滝口課長》

やはりコロナ禍ということで、特に観光交流を中心に人の流れを生み出す事業については若干の滞りが見られたというところは懸念された材料であったというように感じている。

（千葉ロッテマリーンズのキャンプ等の誘致）

《飯塚委員》

千葉ロッテマリーンズのキャンプ等の誘致について、コロナ禍の影響によりだんだんと遠ざかっているように感じているが、その点についてはいかがお考えか。

《野村部長》

コロナ禍の影響により、キャンプを行うこと自体が難しいということで実施を見送ってきており、昨年はホーム球場であるZOZOマリンスタジアムで秋季練習を行い、それをしばらく継続していく予定であると聞いている。

市としてもキャンプの代替の事業について球団と相談をしているので、具体的に決定次

第周知を図っていくのと併せ、引き続きキャンプの誘致活動を行っていきたいと考えている。

《飯塚委員》

ボランティアで球拾いに行くのを楽しみにしている方もいるので、是非コンタクトをとって前向きに検討していただきたいと思っている。

(インバウンドの推進)

《小滝委員》

インバウンド推進事業について、令和3年度及び令和4年度の事業費が0円となっているが、金融機関と地元の基幹産業である宿泊観光業との共存共栄は非常に重要なものであると考えている。

今後、宿泊観光業の下支えや発展という点で、インバウンドの取り込みは今後の重要な施策となると思われるが、市として今後の考え方や方針についてお伺いしたい。

《野村部長》

コロナ禍の影響により、インバウンドの誘致を行えない状況にあったが、今後は鴨川観光プラットフォームと連携しながら、取組について検討していきたいと考えている。

《鈴木会長》

鴨川観光プラットフォームの社長という立場から申し上げさせていただくと、今まではコロナということで活動ができなかったが、これからはその案件についてどんどん進めていく予定でいる。

プラットフォームにおいて台湾市場に明るい人材を採用している。彼の情報等を駆使して、台湾市場に売っていこうということを計画している最中なので、着実に動き始めているなどという実感はある。

・「結婚・出産・子育て」について

《鈴木会長》

「結婚・出産・子育て」について、進捗状況をご指摘いただきたい。

《滝口課長》

コロナ禍という中ではあったが、着実に事業を実施していると全体としては概括できるように感じている。

しかし、成果指標的などころでは、出生数が令和元年は173。令和2年は189。令和3年は158。令和4年は137と、出生数そのものが非常に減ってきている状況にある。市としてここに記載されている取組を進めてはいるが、出生数の増加には至っていない点については危機感を抱いている。

(結婚支援の充実)

《鈴木会長》

出生数に関連して、婚姻件数についても減少傾向にあるのか。

《滝口課長》

婚姻件数については、令和元年が 119。令和 2 年が 110。令和 3 年 107。令和 4 年が 86 という推移になっている。

・「地域づくり」について

《鈴木会長》

「地域づくり」について、進捗状況をご指摘いただきたい。

《滝口課長》

全体的な傾向として、人口減少或いは高齢化というところの影響を受けて事業を実施するというような部分がこの項目の中の大半を占めており、例えば人口の減少等、地域構造の変化に対応する事業としては空き家の活用や或いはコミュニティバス、公共交通の見直し、そういったところが必要になっていくというようなところである。その一方で、高齢化の進展に伴い、高齢者の健康づくり、或いは介護関係の事業の増強が図られているというような傾向。また、人口減少に伴い、地域のコミュニティの維持存続或いは市民活動の活性化というところが課題になっていると、全体の傾向としてはこのような状況になっている項目かと思われる。

○地方創生関連交付金事業及び地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の実績について

・UIJ ターンによる移住就業支援事業について

《田中副会長》

実績を拝見すると、少しずつは増えているが、十分な広報がされているのかどうかという点が気になっている。

また、この交付金を活用してお店を開いた方とたまたま話をしたところ、実際に店舗を開くのに必要な資金に対して、支援金の額が十分ではなかったという意見を伺ったので、そのあたりも踏まえて情報をお伺いしたい。

《田中課長補佐》

事業に関しての周知が足りないということについては、今後さらに周知活動等を行っていきたいと考えている。

《田中副会長》

起業しようと考えている方は、鴨川市に対し夢や新しいビジョンを持っていらっしゃる方が多いと思うので、事業を始められた方たちへのフォローアップや、意見をヒアリングすることも良いのではないかと思う。

《鈴木会長》

仕事のマッチング支援事業というのは、具体的にどういった活動なのか教えていただきたい。

《田中課長補佐》

資料の 5 の中ほどの支給対象者について、鴨川市で中小企業に就業した者となっているが、各事業者において県によるマッチング支援事業の対象企業にノミネートし、都市部から移住される方の就業先として登録される仕組みとなっている。

《滝口課長》

東京圏から就業のために移住しようとする方が転居就業先を見つけるためのマッチングということで、千葉県が県内の中小企業を対象として求人情報を集めてマッチングサイトを開設し、求人広告の作成支援等を行うというような内容になっている。

鴨川市内でこちらに登録されている法人数は今年の6月15日時点で37社となっており、医療法人鉄蕉会、亀田産業株式会社、株式会社吉田屋といった事業所が登録されている。この補助金の対象になっているものは、これらの事業所に就職した方が対象となるので、鴨川市に移住ということだけではなく、実際にこれらの企業でも働いている方ということの成果になっている。

《鈴木会長》

鴨川市内の事業者がどれだけこの情報を知っているかというのは大切に、いかに登録数を増やすかというのもこの実績の寄与に影響してくるように思う。

《斎藤委員》

商工会では年4回程、就職に関する資料を送っているのですが、同封して送ることは可能だと思われる。

《田中課長補佐》

是非ご用意させていただき、お話もさせていただきたいと思う。

《鈴木会長》

商工会だけではなく、観光協会旅館組合やその他諸々の団体へ情報を提供いただければと思う。37社どころか370社になってもおかしくないのではないかと思う。

《飯塚委員》

令和2年度の1件のマッチングについて、※印で1年以内に就業先を辞したため、後年度に返還となっているのが、その理由が分かれば教えていただきたいと思う。

《田中課長補佐》

就業先を辞した理由については把握していない。

議題4 その他

・その他

《伊丹委員》

人口減少、特に労働人口が減っている中で、働き手と雇う側とのマッチングや賃金の問題が話に出ているが、私自身が今部長という立場になって、就職面談をやっていると、若者で働こうとする人たちと我々では働くということに対する価値観にかなり違いが出ていると感じている。若者はやりたいことをやれないから仕事をしない。我々はそうではなかったと思う。ここで生活するためにお金を稼がなくてはいけない。だから仕事を探す。勤め始めた時は好きな仕事ではなかったが、働きながら、その中で小さな喜びややりがいを見つけて、そうして仕事のプロフェッショナルになっていく、というような感じで日本は成長してきたのではないかと思うところがある。勤勉さは日本人の取り柄だったと思うが、今の若者たちと話をするとあまりそういったところは感じられない。

マッチングをするにしても、例えば、「この仕事はこのぐらいの時間でこれだけ稼げますよ」、「これだけあなたは余暇を持てるので、その分趣味をやれますよ」というようなマッ

チングを行っていかないと、これから先、若者を地域に定着させるのは難しいのではないかと感じている。

・任期中の会議の終了について

任期中の会議は今回の会議をもって終了することと同時に、令和6年度から令和7年度にかけて次期基本構想及び総合計画等の策定に向け新たな体制で取り組むことについて事務局から説明し、承認した。

質疑等は、なし。

・総括

《市長》

皆様方からいただいたご意見は、今後のまちづくりについての大きな課題になっていくことであろうことから真摯に受け止めさせていただき、今後のまちづくりに取り組んで参りたいと思っている。

人口減少、働き手が不足している。これはすべてのものに通ずるものであると感じている。そういった中で、非常に厳しいところではあるが、鴨川には素晴らしいポテンシャルがあると思っているので、それをどうPR、広報していけるかが課題になっている。

各種団体等への補助金については、メリハリをつけて、しっかりと対応していかなければいけないものと考えているので、今後とも、各種団体等のご意見なり、調整を図っていきながら進めて参りたいと思っている。

千葉ロッテマリーンズのキャンプ等の誘致については、鴨川との関係、協定はしっかりと取り組んでいくという言葉もいただいているところなので、今後、あらゆる可能性を探りながら、人の流れの創出に向けても取り組んで参りたいと思っている。

人口減少について、企業誘致に関連して、若い人たちが働く環境をしっかりと整えることができれば良いというのは、まさにその通りではあるが、なかなか難しいものがある。若者の価値観についても考慮しながら、人材をどう育てていくかどうかも課題となっている。

それから少し視点が違うかもしれないが、城西国際大学の跡地の活用問題。今後、事業者がどこになるか分からない不透明なところがあるので、一概に公表できる段階ではないが、鴨川市にとって素晴らしい財産であるので、これをどう活用していくかどうかについては、誘致であろうと考えているので、皆様方からもお知恵、お考えがあればお伺いできればよいなと思っている。

いずれにせよ、色々な意見をいただいているところなので、それらも含め、人材をどう活用し育成していくかが鴨川市にとっては大事な課題であると認識しているので、私の思いということで述べさせていただく。

・御礼

《市長》

委員の皆様には、5か年計画の進行管理に関して、令和3年度から3か年度にわたり慎

重に審議をいただいたことに改めて感謝を申し上げます。

現行の5か年計画については、令和7年度までを計画期間としており、来年度からは新たな総合計画の策定に向けた作業にも着手していく予定となっているところである。計画に位置付けられた政策或いは施策は、市民をはじめ、関係機関と行政が手を携えることで魅力あるまちづくりが実現できるものと考えている。

皆様方には、引き続きそれぞれの立場からご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私からのお礼の言葉とさせていただきます。

(6) 閉会 (午前11時56分)

(以上)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、令和5年度鴨川市総合計画審議会における会議録の内容について確認します。

令和5年9月22日

小滝 浩介

菅野 恵
